



政府統計

報道関係者 各位

令和7年 11月 28 日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室

縦断調査管理官 菅沼

室長補佐 原口

(担 当) 成年者縦断統計係

(代表電話) 03-5253-1111 (内線 7592)

(直通電話) 03-3595-2322

第 13 回「21 世紀成年者縦断調査(平成 24 年成年者)」 の結果を公表します

～2012(平成 24)年から 2024(令和6)年まで、同一の成年世代の男女を追跡調査～

厚生労働省では、このほど、同じ集団を対象に毎年実施している「21 世紀成年者縦断調査(平成 24 年成年者)」の第 13 回(2024(令和 6)年)の結果を取りまとめましたので公表します。

21 世紀成年者縦断調査(平成 24 年成年者)は、2012(平成 24)年 10 月末に 20～29 歳であった全国の男女(及びその配偶者)に対して、結婚の状況、出生の状況、就業の状況などを継続的に調査し、先に実施した 21 世紀成年者縦断調査(平成 14 年成年者)との比較対照等を行うことにより、少子化対策など行政施策のための基礎資料を得ることを目的としています。第 13 回調査では、2012(平成 24)年の第 1 回調査から協力が得られた 4,513 人を集計対象としており、調査対象者の年齢は 32～41 歳となっています。

※「21 世紀成年者縦断調査(平成 24 年成年者)」は、第 13 回調査をもって終了します。

【調査結果のポイント】

1 第 1 回調査時の独身者の結婚・出生の状況

第 1 回調査時に独身であった者のこの 12 年間の結婚・出生の状況をみると、男女とも「結婚した」者の割合は平成 14 年成年者の方が高く、「結婚した」者のうち「出生あり」の割合は平成 24 年成年者の方が高い。(3 頁 表 1)

2 結婚した者の家庭観

第 1 回調査時に独身でこの 12 年間に結婚した者の第 13 回の家庭観(世帯の収入、家事、育児)をみると、いずれの家庭観においても「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」が最も高い。また、「世帯の収入」「家事」で「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」と答えた割合は第 1 回と比べて高くなっている。(8 頁 図 4)

調査結果の詳細は、別添概況をご覧ください。